

# 青森県地球温暖化防止活動推進センターです。

青森県地球温暖化防止活動推進センターでは、青森県の目標、2010年までに温室効果ガス削減率＝マイナス6.2%（1990年比）を達成するために様々な活動を行っています。

## 01 青森県ならではの省エネ住宅を考えてみませんか。

雪の多い青森地区とヤマセに悩む八戸地区。それぞれの気候・風土に応じた、住宅づくりのノウハウをこの機会に見てみませんか！

当日は、省エネ住宅関連のパネル、省エネ製品を展示する各社のブース、設計相談やリーフレット配布、プレゼント付きのアンケートコーナーなどを設けます。また、ステージでは「省エネ住宅啓発番組」を上映予定。さらに、省エネ住宅の専門家による、わかりやすいセミナーを併催します。

アンケートに参加すると  
手作り石けんキットプレゼント！

### 「青い森の省エネ住宅まるごとフェア」

#### ●青森会場

日時：11/4(土)～5(日) 10時～16時  
会場：青森市 サンロード青森 1～3F  
講師 / 菅養寺幸子氏  
オーガニックテーブル 代表取締役

#### ●八戸会場

日時：11/11(土)～12(日) 10時～16時  
会場：八戸市八食センター厨スタジオ  
講師 / 矢野方雄氏  
NPO法人消費者住宅フォーラム 理事長



## 02 「環境祭&キャンドルナイト2006」が開催されました。

8月12～13日、八戸市プレイピア白浜にて環境フェスティバルが開催されました。

12日は朝から県内の高校生や一般のアマチュアバンドによるエコライブが開催されました。なぜ「エコ」かというバンド演奏に欠かせない機材（マイク、アンプ、エレキなど）の電力を風力と太陽光とBDF（バイオディーゼル燃料）でまかなっているからです。

来場者数は多いとはいえませんが、実際に演奏した彼らからは「野外で歌うことのすばらしさを実感した！」「また来年もやりたい！」と弾んだ声を聞くことができました。

飲食ブースでは体にやさしい食をすすめるグリーンコートをはじめ、個性的なお店が出店。

ポテトフライやタピオカジュースなどを味わうことができました。

会場では他にロープを使った木登り、ツリーイングの体験会や環境団体によるカヌーの展示、オルゴールの鳴る風車キットの展示等が行われました。

今回、青森県地球温暖化防止活動推進センターはエコワットの比較実験機、温室効果ガスの実験機、全国地球温暖化防止活動推進センター資料の展示のほか、リサイクルキャンドルづくりの体験コーナーを開催しました。

そして夜にはキャンドルナイト。キャンドルナイトは夏至と冬至の夜の2時間、電気を消してキャンドルの明かりの下で過ごすというコンセプトで全国400カ所以上で開催されているイベントです。イベントを呼びかけたり、インターネットで参加表明したり、いろいろな参加のしかたがあります。キャンドルのやさしい灯の下、何をするかは自由。子どもに絵本を読んであげたり、家族とゆっくり会話したり。あわただしい現実からちょっと離れていろんな事を考えてみる時間です。



スローな音楽と幻想的なキャンドルの明かりで夏の夜がゆっくり過ぎていきました。

## 03 「ふれあい体験街物語」が開催されました。

9月2～3日、八戸市のラピアショッピングセンターにてラピア～ピアドゥ循環バス運行2周年記念協賛イベントとして「ふれあい体験街物語」が開催されました。今年のテーマは「エコロジー」ということで当センターも出展してきました。

エコバッグ同様に買いもの袋としての活用が見直されている「風呂敷」の使い方紹介&人気投票&プレゼント企画、エコロジー体験として「リサイクルキャンドルを創ろう！」コーナーを実施。他にも蛍光灯と白熱球の比較実験機を使ってエネルギーを創ることの大変さを学んでもらったり、土に還る素材で作られたプラスチックカップの紹介などを行いました。

風呂敷の人気投票には多くの主婦の方が、キャン

ドルづくりにはたくさんのお子さんたちが参加してくれました。比較実験機に注目してくださった方々には家庭内の電球の省エネ電球への切り替えを検討してほしいと訴えました。

1階のメイン会場ではエコライブやエコクイズのほか、八戸工業大学による、ソーラーカー試乗会や新井田川水質汚染の現状報告、YSP（ヤマハ）による電動自転車の紹介、グリーンクスによる自転車での創エネ体験などが行われ、週末に遊びに来た家族連れなどでとてもにぎわいました。

2階会場では八戸市環境政策課のエコレンジャーによる環境クイズ、八戸インテリジェントプラザのデータベース、「えこえねっとはちのへ」の紹介コーナーや科学マジックショー、種差海岸の写真展示などが行われました。



## 04 北海道・北東北地球温暖化防止活動推進員研修が開催されました。

9月1～2日に北海道・北東北地球温暖化防止活動推進員研修交流会が盛岡市で開催されました。当日は温暖化防止の先進事例として、旭川地域協議会、秋田市環境活動推進協議会、栗石環境パートナーシップの3者の発表があり、その後、盛岡市アイスアリーナで開催された「住



まエネフェスタ 2006」を見学しました。さまざまな地元発の環境技術にどの推進員も興味深く見入っていました。

2日には地域での取り組みをテーマとした講演が行われ、その後、地域での普及啓発活動を進めるための推進員としての役割や関わ

り方についてグルーブトークをし、課題把握と解決方策を探りました。2日間にわたってのこの研修は非常に実り多い時間だったと思います。推進員の皆さん、ぜひ地域での活動に役立ててください。



## 05 「ボランティア・市民活動フェスティバル」に出展しました。

9月24日、八戸市庁前で市民団体によるフェスティバルが開催されました。当日は八戸市内の市民団体約50団体が参加。体験コーナーや飲食コーナー、PRコーナーなどそれぞれが工夫を凝らした方法で市民の皆さんに呼びかけていました。当センターもエコ体験コーナーとして参加してきました。



エコクイズに答えてエコグッズをもらうコーナーや、発電体験のコーナーは特に人気で多くの人々に温暖化について理解を深めていただくことが出来ました。



●軽食・手作り品・農産物販売  
●リサイクルバザー  
●ボランティア活動相談コーナー  
●電動車いす試乗 / 高齢者疑似体験  
●科学ものづくり体験  
などのコーナーの他、市内の保育園やボランティア団体のステージ発表、市民手作りのステージ企画が満載でした。

## 06 青森県地球温暖化防止活動推進センター×ピーターラビットコラボレーション企画「ピーターラビットとおんだんかのおはなし」

10月7～8日に青森市で開催された「第1回あおもり環境フェスティバル」にて、地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」のキャラクターチーム員である「ピーターラビット」[チーム員 No: 507]と青森県地球温暖化防止活動推進センターは、コラボレートして、「ピーターラビット®とおんだんかのおはなし」を開催しました。

このイベントは、イギリス湖水地方を背景としたピーターラビットの世界観やピーターラビットの著者であるビアトリクス・ポター™

(1866-1943)の自然環境保全に対する精神などを通して、地球温暖化防止に向けたナチュラルライフを提案するものです。

会場ではピーターラビットのパネル展示や地球温暖化防止のための宣言パネルへの参加などを行い、118名の新しいチーム員が誕生しました。登録いただいた皆さん、これからもずっと、自分にできる温暖化防止、省エネ活動を続けていってくださいね。

